

令和 5 年 度

新宿区立新宿歴史博物館等文化・歴史施設  
指定管理者の管理業務に係る事業評価結果  
(新宿区立漱石山房記念館)

令和 6 年 1 0 月

新宿区

## 目 次

I	評価の目的	1
II	施設の概要	2
III	評価の概要	3
IV	評価結果	
1	評価結果	4
2	項目別の評価	5
3	全体評価	6
◎評価資料（指定管理者提出資料）		
1	利用者数	(資料1) 9
2	利用・サービスに関すること	(資料2) 11
3	省エネルギー・省資源	(資料3) 17
4	管理運営経費に関すること	(資料4) 18
5	事業に関すること	(資料5) 25
◎参考資料		
1	新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の管理業務に係る 事業評価に関する要綱	(参考資料1) 29
2	新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の管理業務に係る 事業評価委員会の開催実績	(参考資料2) 31

## I 評価の目的

「漱石山房記念館」は、夏目漱石終焉の地において、夏目漱石が晩年を過ごした旧居「漱石山房」を形あるものとして再現し公開するとともに、夏目漱石の作品や功績を広く発信していくことにより、地域の文化や歴史に対する区民の愛着と誇りを育み、地域文化の振興と発展に資するため、新宿区が、平成 29 年 9 月に開設した施設です。

新宿区では、指定管理者制度を導入している施設について、指定管理者から提出された事業計画書及び区と指定管理者が締結する協定書のとおり事業が実施されたかを検証するため、外部の委員の参画による評価委員会を設置し、事業評価を実施することとしています。これに基づき、令和 6 年 7 月 24 日、新宿歴史博物館等文化・歴史施設指定管理者事業評価委員会を開催しました。

漱石山房記念館の運営については、開館時の平成 29 年度から指定管理者制度を導入し、公益財団法人新宿未来創造財団が開館当初から継続して同館の管理運営にあたっています。今回の評価対象期間は、令和 5 年度の 1 年間となります。

この報告書は、同評価委員会による評価結果を踏まえて区の評価をまとめたものです。評価結果は、今後の管理運営業務の改善及びサービスのより一層の向上のため、公益財団法人新宿未来創造財団に通知することとします。

## II 施設の概要

- 1 施設の名称 新宿区立漱石山房記念館
- 2 所在地 新宿区早稲田南町7番地
- 3 規模 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上2階 地下1階建  
敷地面積 1,114.79 m<sup>2</sup> 延床面積 1,276.14 m<sup>2</sup>
- 4 開設年月 平成29年9月24日開館

### 5 施設

施設 内容	2階	資料展示室、展示準備室 等
	1階	エントランスホール、カフェ厨房、 交流・展示スペース、漱石山房展示室、授乳室、 トラックヤード、荷卸室
	地下1階	事務室、収蔵庫、図書室、多目的スペース、荷解室、 機械室、講座室

### 6 休館日

- (1) 原則として毎週月曜日（ただし、月曜日が休日の場合は直後の休日でない日）
- (2) 年末年始

- 7 開館時間 午前10時から午後6時まで

- 8 指定管理者 公益財団法人新宿未来創造財団

### 9 管理運営業務の概要

- (1) 記念館の運営業務  
利用承認、利用料金の収納、職員の配置、人材育成、危機管理等
- (2) 施設の管理業務  
記念館の施設、附帯設備その他の設備の維持管理に関する業務等
- (3) その他記念館に関し、区が必要と認める業務

### Ⅲ 評価の概要

「新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の管理業務に係る事業評価に関する要綱」に基づき行いました。

#### 1 評価委員会

- (1) 名称 新宿歴史博物館等文化・歴史施設指定管理者事業評価委員会
- (2) 構成 委員 6 名（外部委員 4 名、内部委員 2 名）

#### 2 評価対象期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

#### 3 評価項目

- (1) 施設の運営に関する事
- (2) 利用・サービスに関する事
- (3) 施設・設備の管理に関する事
- (4) 管理運営経費に関する事
- (5) 事業に関する事

#### 4 評価方法

指定管理者から提出された「令和5年度事業報告書」及び関連資料のほか、評価委員会開催日当日における指定管理者からの説明及び質疑応答により評価を行いました。

各評価委員は、上記評価項目と総合評価について、下記の評価基準により評価を行いました。

- 4：優良
- 3：良
- 2：適当
- 1：課題あり

## IV 評価結果

### 1 評価結果

新宿歴史博物館等文化・歴史施設指定管理者事業評価委員会の各委員による評価を踏まえて、以下のとおり決定しました。

評 価 項 目		評価
1	施設の運営に関すること	2.5
2	利用・サービスに関すること	3.2
3	施設・設備の管理に関すること	3.0
4	管理運営経費に関すること	3.0
5	事業に関すること	3.5
総 合 評 価		3.2
全 体 評 価		3 (良)

- ・評価の見方 4：優良 3：良 2：適当 1：課題あり
- ・全体評価欄は総合評価欄の数値を下記基準により全体評価として記載
  - 3.5以上 → 4：優良
  - 2.5以上3.5未満 → 3：良
  - 1.5以上2.5未満 → 2：適当
  - 1.0以上1.5未満 → 1：課題あり

(参考) 各委員の評価

評価項目		委員						合計
		A	B	C	D	E	F	
個別評価	1 施設の運営に関すること	2	4	2	3	2	2	15
	2 利用・サービスに関すること	3	3	3	4	3	3	19
	3 施設・設備の管理に関すること	3	3	3	3	3	3	18
	4 管理運営経費に関すること	3	3	3	3	3	3	18
	5 事業に関すること	4	4	3	4	3	3	21
総 合 評 価		3	4	3	3	3	3	19

## 2 項目別の評価

### (1) 施設の運営に関すること

施設の運営に関して「利用率・稼働率」、「職員体制」、「職員教育」、「緊急時の対応」、「区との連絡調整」、「適正な労働環境の確保」、「その他施設の運営」の観点から評価を行いました。

#### 【評価（2. 5点）】

- ・利用者数は53,873人となり、前年度に引き続き目標達成はできなかった。目標達成に向けてより一層の取組を期待するが、前年度比133.7%と、着実に利用者数を増やした。
- ・緊急連絡網や財団危機管理マニュアルは、計画どおり整備されている。
- ・区と月に1回、定例の月次報告会を実施し、時宜に応じて事務連絡や協議等、適切に行われている。SNSを活用した広報、資料管理、情報収集の方法などを扱う東京国立近代美術館での実務研修に参加し、研修で得た知識を組織で共有し業務に活用している。
- ・ハラスメント研修の実施や、産業医による「何でも相談室」を開催(月1回)するなど、適正な労働環境を確保するための取組が行われている。
- ・協定書及び仕様書に定める施設の運営に関して、必要な措置が講じられている。  
以上、施設の運営に関して、適正に運営されていると評価する。

### (2) 利用・サービスに関すること

施設の利用・サービスに関して「利用手続」、「サービス水準の確保」、「利用者サービスの向上」、「利用者対応・接遇」、「利用者要望の把握・対応」、「個人情報等の適切な対応」の観点から評価を行いました。

#### 【評価（3. 2点）】

- ・条例や規則、運用基準に基づき、利用手続きを適正かつ公正に行っている。
- ・協定書、仕様書に沿った水準で事業計画を立て、計画どおり業務を実施しており、適切に業務・事業が行われている。
- ・ミュージアムショップ、観覧券にキャッシュレス決済を導入するなど、利用者の利便性を確保するための取組を積極的に行っている。
- ・月例ミーティングや接遇マニュアル等を通して利用者対応の品質維持・向上に努め、利用者アンケートの満足度調査では、「とても満足」「満足」の合計が99.4%（未回答を除く）と、高い評価を得られた。
- ・利用者アンケートを毎年実施している。収集した利用者の意見や要望に対して、対応策を検討し速やかに業務改善するなど、適切に対応している。
- ・個人情報取扱業務に関する業務フローを策定し、個人情報等の適切な管理に努め、各規則・規定等を遵守し適正に対応している。  
以上、利用・サービスに関して、適切に行われていると評価する。

(3) 施設・設備の管理に関すること

施設・設備の管理に関して「施設・設備管理」、「施設修繕・備品管理」、「省エネルギー・省資源」の観点から評価を行いました。

【評価（3.0点）】

- ・施設設備定期点検について、計画どおりの実施・適切な管理がされている。
  - ・省エネルギー・省資源の取組について、ゼロカーボン電力の使用や夏季の屋上散水など、計画的・継続的に取り組んだ。
- 以上、施設・設備の管理は、適正に行われていると評価する。

(4) 管理運営経費に関すること

管理運営経費に関して「適正な会計」、「目標の達成」、「経費節減、収入・利益率確保の努力」の観点から評価を行いました。

【評価（3.0点）】

- ・公益法人会計に準拠した会計システムによる適正な事務処理が行われている。事業計画に対して事業収益の達成率は104.7%となった。
  - ・節電や施設管理の仕様見直しなどの取組により、事業計画に対して支出は94.2%となった。経費削減分を前庭植栽管理のための水道栓の増設、券売機の購入など、施設環境の維持や利用者サービスの向上に活用したことは高く評価できる。
- 以上、管理運営経費は、適正に執行していると評価する。

(5) 事業に関すること

漱石山房記念館の事業運営に関して「事業実施」、「効果的・効率的な視点」の観点から評価を行いました。

【評価（3.5点）】

- ・特別展と連動した能の講演会を夜間開館イベントとして実施したほか、新宿区や他の文学施設、民間企業等と連携して様々な事業を展開するなど、計画した事業を概ね予定どおり実施している。また、特別展に関連した夏目漱石の文庫本を来館者が購入するといった状況が見受けられ、漱石山房記念館の事業が夏目漱石の読者獲得に繋がっていることは高く評価できる。
  - ・新聞、雑誌、テレビ等のメディアから14件の取材を受けるなど、漱石山房記念館の知名度・関心度が上がっていることが伺える。
- 以上、事業運営に関して、適切に実施していると評価する。

3 全体評価

令和5年度の指定管理者の管理業務について、各評価委員の評価を踏まえ、総合評価は「3.2」となりました。また、全体評価は、評価基準（2.5以上3.5未満）

満→3：良)に照らし、「3：良」としました。

**【総合所見】**

利用者数はコロナ禍前の水準には達しなかったものの、着実に利用者数を伸ばし、概ね良好に運営されている。また、コロナ禍前の水準が開館から3年目であったことを踏まえ、適正な利用者数の目標数値についての見直しの検討も視野に入れつつ、様々な事業展開を通じて漱石山房記念館の更なる知名度の向上を期待する。

今後も、都民・区民及び地域の方に、より多く施設を利用していただけるよう、夏目漱石の功績を十分に活用してより魅力的な事業を実施されることを望む。

## ◎評価資料（指定管理者提出資料）

- 1 利用者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 1
- 2 利用・サービスに関すること・・・・・・・・・・資料 2
- 3 省エネルギー・省資源・・・・・・・・・・資料 3
- 4 管理運営経費に関すること・・・・・・・・・・資料 4
- 5 事業に関すること・・・・・・・・・・資料 5

## 1 利用者数

令和5年度利用者数は事業計画に対して85.5%の達成率となったが、展示会ごとにYouTubeによる展示会の見どころ紹介の配信や新聞、雑誌、テレビ等のメディアを活用した情報発信により、前年度比では133.7%と13,567人増加した。

### ① 施設別利用者数及び評価指標の実績報告

施設名	利用者数				
	計画(人)	実績(人)	達成率	前年度(人)	前年度比
展示室（有料）	13,515	15,771	116.7%	14,896	105.9%
講座室	5,400	2,298	42.6%	2,484	92.5%
展示室（無料）*	44,085	5,052	81.2%	4,381	115.3%
図書室		7,726		8,414	91.8%
カフェその他**		23,026		10,131	227.3%
合計	63,000	53,873	85.5%	40,306	133.7%

\*：メンバーズ倶楽部、招待者、ぐるっとパス等      \*\*：カフェ、取材・視察等

### ② 利用者数

	今年度実績	前年度実績	前年度比
入館者数	53,873 人	40,306 人	133.7%
開館日数	297 日	298 日	99.7%
1日平均利用者数	181.4 人	135.3 人	134.1%
展示会回数	4 回	4 回	±0 回

(内訳)

		今年度実績	前年度実績	前年度比
有料	展示室	15,771 人	14,896 人	105.9%
	有料計	15,771 人	14,896 人	105.9%
無料	展示室(無料)*	2,075 人	1,503 人	138.1%
	メンバーズ倶楽部	759 人	641 人	118.4%
	招待者	590 人	653 人	90.4%
	取材・視察	252 人	215 人	117.2%
	ぐるっとパス	1,628 人	1,584 人	102.8%
	講座室	2,298 人	2,484 人	92.5%
	図書室	7,726 人	8,414 人	91.8%
	カフェその他**	22,774 人	9,916 人	229.7%
	無料計	38,102 人	25,410 人	149.9%
合計		53,873 人	40,306 人	133.7%

\* : 学校行事(小・中学生)、障害者等      \*\* : 導入展示、カフェ、ブックカフェ等

< 特別展 >

「夏目漱石と野上豊一郎・弥生子」

令和 5 年 10 月 21 日～令和 5 年 12 月 17 日      観覧者数 4,321 人

< 通常展 >    3 展示会

テーマ展示「漱石・修善寺の大患と主治医・森成麟造」

令和 5 年 4 月 13 日～令和 5 年 7 月 9 日      観覧者数 4,980 人

テーマ展示「『硝子戸の中』と漱石のみた東京」

令和 5 年 7 月 13 日～令和 5 年 10 月 15 日      観覧者数 5,480 人

テーマ展示「夏目漱石と漱石山房 其の一」

令和 5 年 12 月 23 日～ 令和 6 年 3 月 31 日      観覧者数 5,620 人

※会期は令和 6 年 4 月 21 日まで      (令和 5 年度分)

## 2 利用・サービスに関すること

### (1) 利用手続

新宿区立漱石山房記念館条例第 27 条の範囲内で、展示資料の観覧に係る利用料金及び講座室の利用に係る利用料金を設定した。

#### ① 利用料金（展示資料の観覧に係る利用料金）

区分		1 人 1 回当たり	
		一般	小学生・中学生
通常展	個人	300 円	100 円
	団体（20 人以上）	150 円	50 円
特別展*	個人	500 円	100 円
	団体（20 人以上）	250 円	50 円

\* 特別展チケットで通常展示の観覧も可能。

#### ② 利用料金（講座室の利用に係る料金）

区分	午前 10:00-13:00	午後 13:30-17:45	全日 10:00-17:45
料 金	3,000 円	6,000 円	9,000 円

※ マイク、音響設備、椅子は無料。

※ 附帯設備（映写設備等）・・・ 1 区分につき 2,000 円、全日 4,000 円

### (2) サービス水準の確保

基本協定書及び仕様書の内容に沿った水準で、適正に業務・事業を行った。

### (3) 利用者サービスの向上

利用者の方が常に安全で快適な状態で漱石山房記念館の施設や設備を利用できるように、計画的に維持管理や保守点検を行い、施設を保持した。

また、利用者サービス向上のため、指定管理事業として以下の業務を実施した。

- ① メンバーズ倶楽部の加入・更新手続き実績：122 人
- ② 音声ガイド貸し出し実績：2,446 人、ポケット学芸員のリーフレット配布実績：305 人
- ③ レガスマつり（漱石山房まつり）を開催し、展示無料観覧者を含む延べ 710 人が来館
- ④ ぐるっとパス利用実績：1,628 人
- ⑤ ぱる新宿ガイドに会員割引を掲載
- ⑥ ブックカフェ事業者とふるさと納税の返礼品などを連携して行った。
- ⑦ 展示会ごとに見どころ紹介を学芸員が YouTube で配信した。

#### **(4) 利用者対応・接遇**

利用者への良好な接客対応を行うため、職員モラルの向上に資するために必要な研修等を実施した。

#### **(5) 利用者要望の把握・対応**

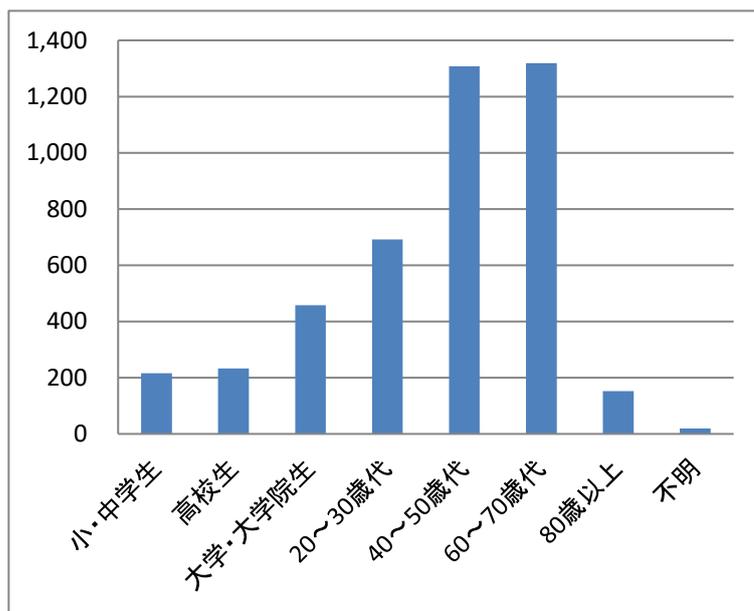
- ① 利用者アンケートを通年で実施した。(P13~16 参照)
- ② 窓口等で寄せられる利用者のニーズ等の収集を行い、施設運営に反映させた。(ミュージアムグッズの充実など)

# 利用者アンケート集計結果

回答数 4,397

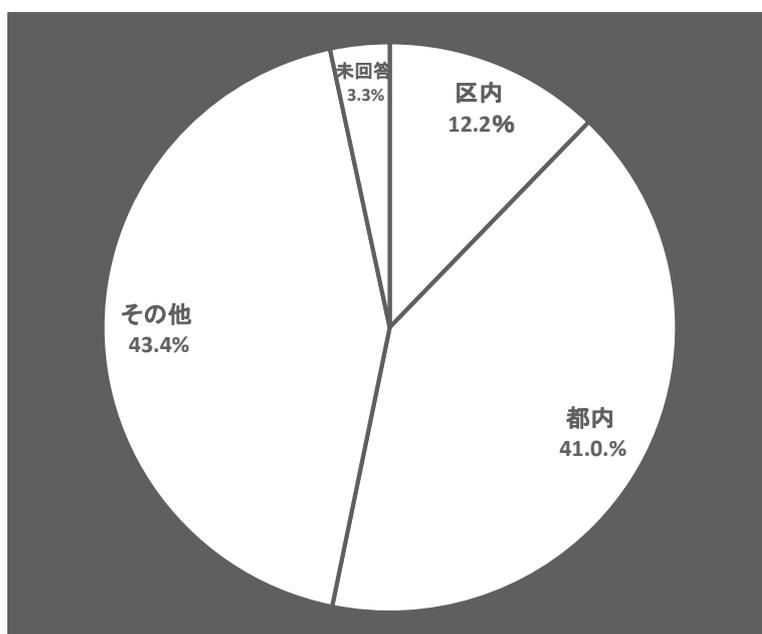
## ア 年齢分布

	人数	総計	割合
小・中学生	216	4,397	4.9%
高校生	233		5.3%
大学・大学院生	458		10.4%
20～30歳代	692		15.7%
40～50歳代	1,308		29.7%
60～70歳代	1,319		30.0%
80歳以上	152		3.5%
不明	19		0.4%



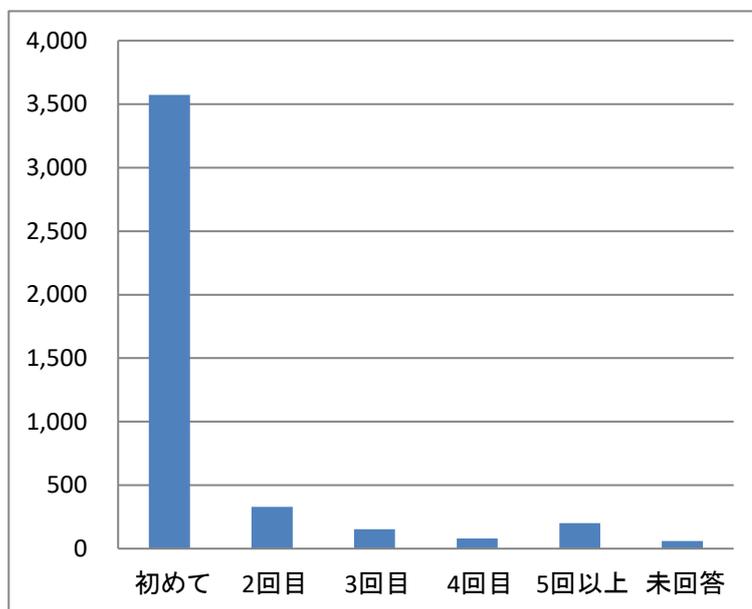
## イ 居住地

	人数	総計	割合
新宿区内	536	4,397	12.2%
東京都内	1,804		41.0%
その他	1,910		43.4%
未回答	147		3.3%



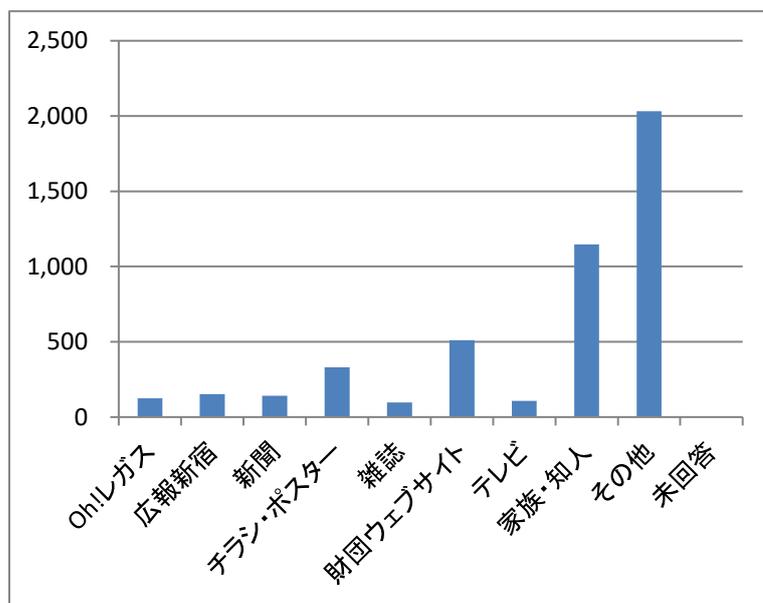
### ウ 来館回数

	人数	総計	割合
初めて	3572	4,397	81.2%
2回目	330		7.5%
3回目	154		3.5%
4回目	80		1.8%
5回以上	200		4.5%
未回答	61		1.4%



### エ 当館を知った媒体

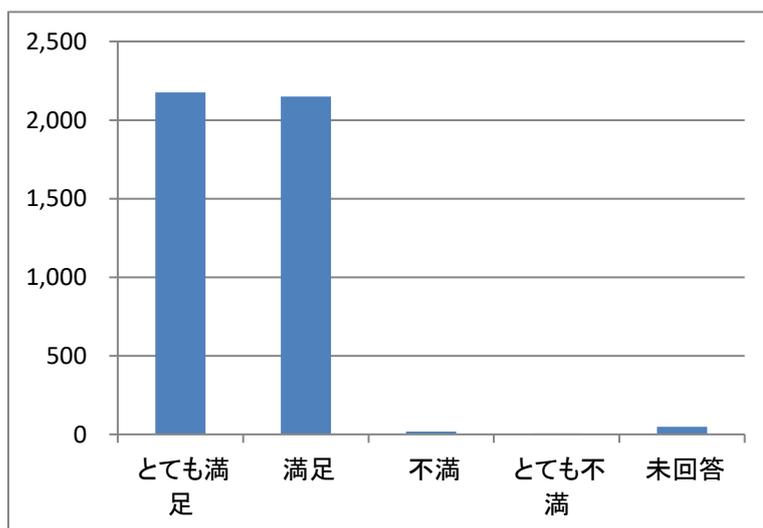
	人数	総計	割合
Oh!レガス	124	4,643	2.7%
広報新宿	153		3.3%
新聞	142		3.1%
チラシ・ポスター	330		7.1%
雑誌	96		2.1%
財団ウェブサイト	510		11.0%
テレビ	108		2.3%
家族・知人	1,147		24.7%
その他	2,033		43.8%
未回答	0		0.0%



※複数回答あり

### オ 満足度

	人数	総計	割合
とても満足	2,175	4,397	49.5%
満足	2,149		48.9%
不満	18		0.4%
とても不満	6		0.1%
未回答	49		1.1%



### 漱石山房記念館の感想（抜粋）

何度来ても楽しい。ゆっくり1人で来て、本も読みたいです。

夏目漱石作品を読んだことがないので、読んでみようと思った。素敵な記念館です。建物がきれいで落ち着く。

資料などの説明が簡潔でわかりやすかった。

大変キレイで気持ちよく過ごせた。庭の草花の手入れも行き届いていて植木も見事。上映中のビデオ勉強になりました。係の方の大変詳しい説明が興味深く勉強になりました。カフェのコーヒーかなりおいしかったです

こじんまりした建物だが、館内の経路がおもしろく、満足できた。

以前来た時、静かで良かったので母を連れて来ました。桜の季節に来て良かったです。初版本が見れて楽しかったし、この漱石山房が大変な歴史があったのだと2回目により知れた

ガイドの方が1階でしっかり説明してくださいました。

特化した博物館として大変興味深いです。ガイドさんの説明も見学にも過不足なく、展示方法も洗練されていて良いです。自宅が近かったらいつでも来たいです。これからも頑張ってください。

もう20回来ていますが、いつも満足いたしております。

毎回、受付の方が親切に対応くださるのでありがたいです

書斎や葉書をはじめとする展示品を見て、改めて漱石さんの人間性を感じるとともに学びになりました。

漱石に対する深い愛情、研究が伝わるとも良い記念館だと感じました。来て良かったです。ありがとうございました。

### 《通常展》テーマ展示「漱石・修善寺の大患と主治医・森成麟造」の感想（抜粋）

病気で亡くなる様子が伝わった。現代なら治せるのに残念に思った。

自分のひいひいおじいさん（森成麟造さん）についてよく知れてよかった。細かなところまで展示されていておどろいた。

### 《通常展》テーマ展示「『硝子戸の中』と漱石のみた東京」の感想（抜粋）

小説の抜粋の展示がとても良かった。何冊か買って読もうと思います。

当時の早稲田の風景と、今の風景を対比した時の違いを頭に浮かべながら、また早稲田の街を歩いてみようと思います。

《特別展》「夏目漱石と野上豊一郎・弥生子」の感想（抜粋）

略年表で野上さんの経歴が分かってびっくりしました。
漱石山脈と呼ばれる人々の中で野上夫妻のことはいま一つ理解できなかったのも、とてもためになりました。
漱石と野上弥生子のことを調べたことがあったので、興味深く拝見しました。特に京人形の現物の小ささを実感できたのが良かったです。
能楽に親しんでいるので気になって見に来ました。豊一郎と漱石の能への関心・親しみの高さの一端を知ることが出来ました。

《通常展》テーマ展示「夏目漱石と漱石山房 其の一」の感想（抜粋）

キツネの襟巻はちょっと「ギョッ」としました。襦袢を見て「漱石小さいなあ」と思いました。
デスマスクをじっくり見た。西洋人のように鼻が高く、写真のイメージに少し肉付けされた気分。自筆の手紙も性格を表すような感じで見入った。

漱石山房記念館に対する意見・要望（抜粋）

意見・要望	対応
写真撮影可能なスペースを増やしてほしい。	2階の通路展示など権利が発生しない展示について写真撮影の検討をさせていただきます。
スタンプの黒インクがなかなか乾かずに、机や手が汚れてしまって残念でした。	インクを吸い取る紙をスタンプ台の横に置きました。
2階のトイレが使いにくい。荷物置き、ペーパーの場所、鍵等	レイアウトの検討をさせていただきます。
画像がタッチパネルで見たいものを探せるとよいのですが、何十枚もずっと見ているのは現実的ではなく、しかし見たいものもあるかもしれないと思うと心残りです。	次回モニター更新時に映像資料のタッチパネル化について検討させていただきます。
肉筆原稿をもう少し見たい	所蔵資料を定期的に展示替えしております。
解説の英語表記もあった方がいいと思った。	常設展示については音声ガイド及びポケット学芸員で4か国語対応をしております。特別展、テーマ展示については、AIによる翻訳で対応ができないか調査・検討いたします。
駅からの道案内がもう少し多ければいいかなと思いました。	ホームページに地下鉄早稲田駅と都営バス牛込保健センターからの経路の詳細を掲載しております。

### 3 省エネルギー・省資源

- ① 不要照明の消灯、適正な空調温度の管理等の省エネルギー活動を行った。
- ② 夏季に屋上散水に取り組み、冷房効果を高めることで節電に繋がった。
- ③ データによる資料の共有等により用紙の使用を抑制し、省資源活動を行った。
- ④ 省エネルギー・省資源活動の目標については、別途新宿区に提出する「環境マネジメント活動報告書」にて設定の上、適正に進捗管理を行った。

項目	今年度	前年度	前年度比	説明
電気 (kWh)	294,715	336,580	87.6%	夏季の屋上散水による節電効果や不要な電気消灯の徹底による減。
ガス (m <sup>3</sup> )	37	26	142.3%	カフェ営業再開に伴う増。
水道 (m <sup>3</sup> )	903	708	127.5%	夏季の屋上散水の実施による増。
廃棄物 (kg)	2,000	2,100	95.2%	ごみ分別の徹底や職員のマイボトル持参等の取組により減。

## 4 管理運営経費に関すること

### (1) 適正な会計

公益法人会計に準拠した会計システムによる事務処理や税理士、監査法人による外部チェックを実施した。

### (2) 目標の達成

	目標	実績
① 本業務収入 [観覧料等]	4,895,000 円	5,197,749 円
② 本業務（提案事業）収入 [施設活用イベント参加料等]	70,000 円	0 円※

詳細は、収入実績（P21）のとおり。

※本年は特別展イベントとして実施したため、指定管理での収入はなかった。

### (3) 経費節減、収入・利益率確保の努力

#### ① 設備等管理業務の一元化

機械警備や電気工作物点検など他の当財団管理施設と契約を一本化することで委託費の削減を図った。

#### ② 財団のスケールメリット

広報紙や施設ガイド、ホームページ等の広報活動は、財団全体で包括的・効率的に行った。また、講座室等の施設予約事務は、財団独自の総合受付システムを活用して、各施設の窓口で横断的に実施した。

#### ③ 省エネルギーの推進

年間を通じて不要照明の消灯、適正な空調温度の管理等の省エネルギーに取り組んだ。また、夏季に屋上散水を実施し、建物の温度を下げて冷房効果を高めることで節電を行った。

#### ④ PR 活動の推進

財団広報紙「Oh!レガス新宿ニュース」（年 24 回、各 85,000 部）、駅表示広告（早稲田駅・神楽坂駅・牛込柳町駅）、施設ガイド（年 1 回発行）、メンバーズ倶楽部会報（年 6 回発行）、ニュースレター（年 3 回、1 回 5,000 部発行）、館報（年 1 回、300 部発行）により、施設を PR した。

#### ⑤ 地域人材との協働

博物館ボランティア制度を活用して、再現展示室ガイドやチラシ発送、ニュースレターの校正等

で延べ 333 回、登録ボランティアが活動を行った。

⑥ 自主事業収入の区への還元

財団自主事業であるミュージアムショップについて、収支実績確定後に収支差額（漱石山房記念館、新宿歴史博物館、落合 3 記念館分の合計）の一部を区に還元した。

令和 5 年度は 421,897 円を区へ還元した。（漱石山房記念館課分）

⑦ 施設を活用した事業展開

特別展、文学講座等を実施し、来館者の増に努めた。（詳細は P26~27「事業実績」のとおり）

## 収支実績

(単位：千円)

収 入		
項 目	計 画	実 績
指定管理本業務	4,895	5,198
指定管理本業務 (提案事業)	70	0
指定管理協定による 収入	73,396	73,396
収入合計	78,361	78,594

支 出		
項 目	計 画	実 績
指定管理本業務 ※パート人件費含む	60,947	57,054
指定管理本業務 (提案事業)	366	250
人件費 ※パート人件費含まない	17,048	16,480
支出合計	78,361	73,784

## (1) 収入実績

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
①指定管理本業務収入	4,895,000	5,197,749	302,749	5,079,739	
観覧料収入	4,623,000	4,980,550	357,550	4,979,350	
講座室利用料収入	144,000	41,000	△ 103,000	33,000	
ぐるっとパス販売等収入	100,000	147,853	47,853	39,043	
図書室複写機電気料	28,000	28,346	346	28,346	
②指定管理本業務(提案事業)収入	70,000	0	△ 70,000	193,000	
講座参加料収入	70,000	0	△ 70,000	193,000	
③指定管理協定による収入	73,396,000	73,396,000	0	66,825,000	
区指定管理収入	73,396,000	73,396,000	0	66,825,000	
収入合計 (①+②+③)	78,361,000	78,593,749	232,749	72,097,739	

## (2) 支出実績

総括表

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
①指定管理本業務	60,947,000	57,054,469	△ 3,892,531	55,968,541	パート人件費を含む
②指定管理本業務(提案事業)	366,000	250,098	△ 115,902	281,828	
支出合計 (①+②)	61,313,000	57,304,567	△ 4,008,433	56,250,369	
人件費	17,048,000	16,479,765	△ 568,235	14,905,124	パート人件費を含まない
繰入金支出	0	0	0	0	
支出総合計	78,361,000	73,784,332	△ 4,576,668	71,155,493	

①指定管理本業務

(i) パート人件費

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
パート人件費支出	7,919,000	7,251,259	△ 667,741	6,673,234	
パート人件費	7,919,000	7,251,259	△ 667,741	6,673,234	
合計	7,919,000	7,251,259	△ 667,741	6,673,234	

(ii) 一般管理費項目詳細

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
一般事務用品等の購入	1,373,000	1,306,348	△ 66,652	982,232	
消耗品費	1,373,000	1,306,348	△ 66,652	982,232	
租税公課費の支出	2,609,000	2,515,402	△ 93,598	2,462,000	
租税公課	2,609,000	2,515,402	△ 93,598	2,462,000	消費税等
その他一般管理費支出	504,000	407,774	△ 96,226	327,855	
旅費交通費	45,000	45,000	0	18,302	
通信運搬費	459,000	362,774	△ 96,226	309,553	
合計	4,486,000	4,229,524	△ 256,476	3,772,087	

(iii) 施設・設備維持管理費項目詳細

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
委託費支出	35,880,000	33,342,499	△ 2,537,501	32,544,168	
委託費	35,880,000	33,342,499	△ 2,537,501	32,544,168	施設管理・清掃・警備業務、機械警備等
修繕費支出	1,061,000	977,515	△ 83,485	271,991	
修繕費	1,061,000	977,515	△ 83,485	271,991	施設・設備修繕
その他施設・設備維持管理費支出	10,727,000	8,582,920	△ 2,144,080	11,410,474	
光熱水費	10,647,000	8,503,720	△ 2,143,280	11,250,754	電気・水道代
使用料及び賃借料	80,000	79,200	△ 800	159,720	
合計	47,668,000	42,902,934	△ 4,765,066	44,226,633	

(iv) 運営費項目詳細

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
印刷製本費支出	328,000	628,617	300,617	798,716	
印刷製本費	328,000	628,617	300,617	798,716	
その他運営費支出	546,000	2,042,135	1,496,135	497,871	
保険料	47,000	32,583	△ 14,417	30,667	
諸謝金	376,000	256,000	△ 120,000	306,000	
支払負担金	0	1,568,600	1,568,600	0	
支払手数料	123,000	184,952	61,952	161,204	
			0		
合計	874,000	2,670,752	1,796,752	1,296,587	

## ②指定管理本業務（提案事業）

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
一般事務用品等の購入	251,000	250,098	△ 902	26,950	
消耗品費	251,000	250,098	△ 902	26,950	
その他一般管理費支出	5,000	0	△ 5,000	378	
通信運搬費	5,000	0	△ 5,000	378	
委託費支出	-	-	-	-	
委託費	-	-	-	-	
印刷製本費支出	-	-	-	-	
印刷製本費	-	-	-	-	
その他運営費支出	110,000	0	△ 110,000	254,500	
諸謝金	110,000	0	△ 110,000	254,500	
合計	366,000	250,098	△ 115,902	281,828	

③指定管理本業務計①+②	61,313,000	57,304,567	△ 4,008,433	56,250,369	
--------------	------------	------------	-------------	------------	--

自主事業（利益配分を実績確定後に区に配分する分） ※ミュージアムショップは財団自主事業として運営

項目	収入	支出	収支差額	区還元額
ミュージアムショップ実績	5,170,748	3,061,264	2,109,484	421,897

※新宿歴史博物館分、漱石山房記念館分の収支を合算し収支がプラスになったため、漱石山房記念館収支差額の2割（421,897円）を区に還元した。

## 5 事業に関すること

### (1) 事業実施

#### ① 本業務及び本業務（提案事業）

事業名	評価指標	計画	実績
メンバーズ倶楽部	登録者数	70 人	122 人
通常展展示替え	実施回数	1 回	4 回
レガスマつり (漱石山房まつり)	—	—	710 人
二月九日朗読会	参加者数	50 人	69 人
ひなまつり朗読会※	参加者数	50 人	—
夜間開館 特別展記念講演会 「漱石先生追善謡会」を読み解く	参加者数	70 人	40 人

※ひなまつり朗読会は団体の都合により令和 6 年 6 月に名称を変更して実施予定

### (2) 効果的・効率的な視点

漱石山房記念館の設置目的は、新宿区立漱石山房記念館条例第 1 条「夏目漱石終焉の地において、夏目漱石が晩年を過ごした旧居「漱石山房」を形あるものとして再現し公開するとともに、夏目漱石の作品や功績を広く発信していくことにより、地域の文化や歴史に対する区民の愛着と誇りを育み、もって地域文化の振興と発展に資するため、新宿区立漱石山房記念館を設置する。」とされている。この設置目的を達成するため、漱石山房記念館の管理運営、財団自主財源事業及び新宿区補助事業等と連携することで、効果的・効率的に館運営を行った。（詳細は P26~27「事業実績」のとおり）

## 事業実績（指定管理事業以外）

### 1 財団事業との連携

事業名	内容	時期等	実績
郷土資料の調査収集・活用 (補助事業)	夏目漱石に関する資料の収集、貸出や利用者からの問合せに対するレファレンス、館蔵資料の整理等を行った。	通年	(1) 寄贈資料受入：8件 11点 (2) 図書室書籍の新宿区立図書館OPAC（オンライン蔵書目録）登録：80冊 (3) 当館資料及び夏目漱石に関するレファレンス：891件
展示会の開催 (補助事業)	夏目漱石やその門下生に関する様々なテーマを設定し、企画展示室を中心に展示会を行った。	通年	(1) 特別展：「夏目漱石と野上豊一郎・弥生子」 令和5年10月21日から令和5年12月17日まで 観覧者数：4,321人 ギャラリートーク：25人、オンライン・ギャラリートーク視聴回数：252回 (2) 通常展：「テーマ展示「漱石・修善寺の大患と主治医・森成麟造」 令和5年4月13日から令和5年7月9日まで 観覧者数：4,980人 ギャラリートーク：66人 (3) 通常展：「『硝子戸の中』と漱石のみた東京」 令和5年7月13日から令和5年10月15日まで 観覧者数：5,480人 ギャラリートーク：65人、オンライン・ギャラリートーク視聴回数：718回 (4) 通常展：「夏目漱石と漱石山房 其の一」 令和5年12月23日から令和6年3月31日まで 観覧者数：5,620人 (令和5年度分) ギャラリートーク：52人、オンライン・ギャラリートーク視聴回数：116回
文学連続講座 俳句連続講座 文学館学芸員講座 (補助事業)	夏目漱石作品の精読や、その背景にある文学的環境など、文豪・夏目漱石に対する興味・関心を喚起する講座を開催した。	年3回	(1) 文学講座：「夏目漱石『草枕』を読む」 令和5年7月9日・16日 全2回 延べ参加者数：102人 (2) 俳句講座：「漱石の俳句・子規の俳句一贈り合う言葉」 令和5年12月16日、令和6年1月20日 全2回 延べ参加者数：65人 (3) 文学館学芸員講座：「夏目漱石と鎌倉」 令和6年3月24日 参加者数：47人
九日会 (補助事業) ※新宿区との共催	夏目漱石の月命日である九日に、その門下生らが開いた集いになみ、漱石を偲ぶ催しを開催した。	年2回	(1) 「『硝子戸の中』を連載小説として読んでみる」 令和5年9月9日、参加者数：65人 (2) 「真野響子、漱石を声にする」 令和6年3月9日、参加者数：74人
開館記念講演会 (補助事業)	漱石山房記念館開館日の9月24日を記念した講演会を開催した。	年1回	「仕組まれた旅の顛末－夏目漱石『行人』の世界」 令和5年9月24日、参加者数：53人
特別展記念講演会 (補助事業)	特別展「夏目漱石と野上豊一郎・弥生子」と関連した講演会	年1回	「『漱石先生追善証会』を読み解く」 令和5年10月26日、参加者数：40人
文学さんぽ (補助事業)	夏目漱石や漱石ゆかりの文学者たちの魅力を再発見・発信することを目的として、関連スポットを巡る文学散歩を実施した。	年2回	(1) 「新宿×文京 千駄木の鷗外と漱石」 令和5年11月12日、参加者数：32人 ※文京区立森鷗外記念館と連携して開催 (2) 「漱石忌 夏目漱石の墓参り」 令和5年12月9日、参加者数：13人※事業補助ボランティア8人参加
夏休み子ども講座 (補助事業)	小学1・2年生とその保護者を対象に、保護者が子どもへインタビューをしながら読書感想文を作り上げるワークショップ形式の講座を実施した。	年2回	「親子で楽しむ読書感想文」 令和5年7月29日、参加者数：19組(午前12組・午後7組)

## 事業実績（指定管理事業以外）

### 2 新宿区等との連携

連携先・事業名	内容	時期等	実績
鶴巻図書館との共催 「大人のための朗読寄席」	新宿区を拠点に活動する朗読ボランティアグループと早稲田大学出身の若手落語家による、漱石の小説「夢十夜」を演目とした朗読と寄席を開催した。	年1回	開催日：令和6年2月10日 会場：漱石山房記念館 地下1階講座室 参加者数：60人
西落合図書館との共催 「ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状V～」	小学生以上の児童、生徒とその保護者を対象に、夏目漱石をテーマとしたミステリークエスト（謎解きイベント）を開催した。	年1回	開催期間：令和5年7月21日から令和5年8月24日まで 会場：西落合図書館、漱石山房記念館 参加者数：375人（回答用紙配布数）
新宿区 「新宿区×明治東京恋伽デジタルスタンプラリー」	ゲーム「明治東京恋伽」とタイアップし、漱石山房記念館・新宿歴史博物館などの区立施設5館を巡るデジタルスタンプラリー。	年1回	開催期間：令和6年2月14日から令和6年3月31日まで 参加者数：559人（ポストカード配布数）
熊本県 「漱石山房記念館ライトアップー竹あかりー」	新宿区が熊本県等と締結した「文化と歴史を縁とした包括連携に関する覚書」に基づき、漱石山房記念館前庭において竹灯籠によるライトアップを実施した。	年1回	開催期間：令和5年12月5日から令和5年12月27日まで 点灯時間：16時30分から20時まで
熊本県玉名市 新宿区－玉名市協働展 「俳句フォト夏目漱石の旅 歴代優秀作品展」	夏目漱石の小説「草枕」の舞台となった、熊本県玉名市と新宿区の協働展。玉名市草枕交流館が募集した、全国各地の漱石ゆかりの地の写真俳句のうち、歴代優秀作品を館内で展示した。	年1回	開催期間：令和5年11月3日から令和5年12月8日まで 展示場所：地下1階 多目的スペース
新宿×文京 漱石 & 鷗外スタンプラリー	文京区立森鷗外記念館と漱石山房記念館の2館を巡るスタンプラリー。	年1回	開催期間：令和5年10月7日から令和6年1月14日まで 缶バッジ配布数：1,162個（漱石 740個、鷗外 422個）
新宿区 令和5年度 新宿区夏目漱石コンクール・絵画部門入賞作品展示	夏目漱石コンクール（読書感想文・絵画）のうち、絵画コンクール「どんな夢を見た？あなたの「夢十夜」」の入選作品を展示した。	年1回	開催期間：令和5年12月9日から令和6年1月31日まで 展示場所：地下1階 多目的スペース
JR東日本 駅からハイキング	JR東日本首都圏本部と連携して、漱石山房記念館をコースポイントとしたウォーキングイベントに協力した。	年1回	（1）「レトロとモダンが息づくまちかど、飯田橋から始まる秋の末散歩」 令和5年11月27日～令和5年12月3日、参加者：3,375人 ※JR飯田橋駅発着 （2）新宿生が考える「新宿駅周辺の魅力を巡るお散歩コース」 令和6年2月20日～令和6年2月25日、参加者：1,824人 ※JR新宿駅発着

## ◎参考資料

- 1 新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の管理業務に係る事業評価に関する要綱・・・・・・・・・・・・・・・・参考資料1
- 2 新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の管理業務に係る事業評価委員会の開催実績・・・・・・・・・・・・・・・・参考資料2

## 参考資料 1

### 新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の 管理業務に係る事業評価に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者が実施した管理業務に係る事業を評価するにあたり、必要な事項を定めることを目的とする。

(事業評価委員会の設置)

第2条 区長は、指定管理者が行う新宿歴史博物館等文化・歴史施設の管理業務に関する評価(以下「評価」という。)を行なうため、新宿歴史博物館等文化・歴史施設指定管理者事業評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会は次の施設の評価を行うものとする。

- (1) 新宿歴史博物館
- (2) 林芙美子記念館
- (3) 佐伯祐三アトリエ記念館
- (4) 中村彝アトリエ記念館
- (5) 漱石山房記念館

3 委員会は年度ごとに設置し、前項の評価の終了をもって廃止する。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる職にある者につき、区長が委嘱し、又は任命する委員6名をもって組織する。

- (1) 外部有識者 4名
- (2) 内部委員 2名

2 委員会に委員長を置き、委員長は内部委員の中から任命する。

3 委員長は、委員会を代表し会務を総理する。

4 委員長に事故あるときは、委員のうちから委員長があらかじめ指名した者がその職務を代理する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日又は任命した日から所定の評価業務が終了した日までとする。

(委員会の開催)

第5条 委員会は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員長は、過半数以上の委員の出席がなければ、委員会を開くことができない。

3 委員長は、必要に応じ、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(評価の基準)

第6条 評価は、次に掲げる項目について、別に定める評価の基準により行なうものとする。

- (1) 施設の管理業務に関すること
- (2) 施設の運営方法に関すること
- (3) 管理経費の収支状況に関すること

(4) その他委員会が必要と認める事項

(評価方法)

第7条 委員会は、前条の評価を次のとおり行う。

(1) 指定管理者が提出した事業実施報告書による評価

(2) 指定管理者に対するヒアリングによる評価

(評価結果の決定)

第8条 区長は、文化観光産業部文化観光課が取りまとめる委員会の評価を踏まえ、評価結果を決定する。

(評価対象)

第9条 委員会が行う評価の対象は、当該年度の前年度に実施した管理業務とする。

(委員会の庶務)

第10条 委員会の庶務は、文化観光産業部文化観光課が処理する。

(補則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、別に定める。

#### 附 則

この要綱は、平成20年6月26日から施行する。

この要綱は、平成23年6月30日から施行する。

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

この要綱は、令和3年6月1日から施行する。

この要綱は、令和4年6月1日から施行する。

## 参考資料 2

### 新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の 管理業務に係る事業評価委員会の開催実績

1 日 時 令和 6 年 7 月 24 日(水) 午後 2 時から 5 時まで

2 場 所 新宿歴史博物館 2 階 講堂

#### 3 出席者

##### (1) 評価委員

宮瀧 交二 (大東文化大学文学部教授 (博物館学))  
加藤 弘美 (税理士)  
岩田 理加子 (朗読の会「ふみのしおり」主宰)  
夏山 勇 (榎町地区町会連合会早稲田町町会長)  
市田 亮 (新宿区文化観光産業部産業振興課長)  
齊藤 正之 (新宿区教育委員会事務局教育調整課長)

##### (2) 指定管理者 公益財団法人新宿未来創造財団

加賀美 秋彦 (事務局長)  
岡田 健一 (企画経営部長)  
岡崎 保 (文化・芸術振興部長)  
守谷 賢一 (新宿歴史博物館長兼漱石山房記念館長)  
内藤 典子 (地域歴史課係長)  
福田 義和 (漱石山房記念館課係長)  
神崎 章 (スポーツ・マラソン部長) (区派遣)

##### (3) 事務局 文化観光課

村上 喜孝 (文化観光課長)  
北村 こころ (文化資源係長)  
西村 早苗 (文化資源主査)  
関口 アンナ (文化資源係主事)

#### 4 会議内容

(1) 開会あいさつ・委員紹介

(2) 評価方法の説明

(3) 新宿歴史博物館、林芙美子記念館、佐伯祐三アトリエ記念館、中村彝アトリエ記念館、漱石山房記念館の指定管理者の評価について

ア 指定管理者事業説明

イ 事業説明に関する質疑応答

ウ 各委員による評価

エ 評価に基づく意見交換